



平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月11日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木住野 福寿
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年2月期第1四半期 | 26,262 | △2.4 | 134 | △49.5 | 106 | △54.5 | 59 | △68.7 |
| 30年2月期第1四半期 | 26,906 | △1.7 | 265 | △13.6 | 232 | △18.0 | 190 | △4.0 |

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 145百万円 (△24.7%) 30年2月期第1四半期 193百万円 (△29.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年2月期第1四半期 | 2.60 | — |
| 30年2月期第1四半期 | 8.29 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年2月期第1四半期 | 70,527 | 24,030 | 34.1 | 1,046.11 |
| 30年2月期 | 68,739 | 24,229 | 35.2 | 1,054.78 |

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 24,030百万円 30年2月期 24,229百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年2月期 | — | — | — | 15.00 | 15.00 |
| 31年2月期 | — | — | — | — | — |
| 31年2月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|------|-------|------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 54,400 | 0.8 | 400 | △14.5 | 350 | △15.1 | 200 | △30.3 | 8.71 |
| 通期 | 108,000 | 1.1 | 700 | 187.2 | 600 | 400.0 | 350 | — | 15.24 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年2月期1Q | 23,354,223株 | 30年2月期 | 23,354,223株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年2月期1Q | 382,630株 | 30年2月期 | 382,630株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年2月期1Q | 22,971,593株 | 30年2月期1Q | 22,971,766株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | 4 |
| 第1四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策や金融政策を背景に、企業収益の回復や雇用環境の改善などにより、緩やかな回復基調が続きました。

一方で、米国政権の通商政策の動向や、中東およびアジア地域における地政学的リスクの高まりにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、同業他社だけでなく、EC市場の拡大を始めとする異業種・異業態との競合、価格競争が激化しており、人手不足に伴う人件費の増加や物流コスト上昇等のリスクに晒され、依然として厳しい環境が続いております。

こうした環境のなか、当社グループでは「フード」「ディスカウント」「専門店」の3つの業態を柱として、ニーズの変化や地域特性に応じた様々な店舗スタイルで、臨機応変な事業展開により、競争力を強化することを継続してまいりました。

この方針のもと、専門店事業におきましては、独自商品の開発と専門知識を専門店部門におきましては、引き続き独自商品の開発と専門知識を持った人材育成による販売力強化に努めており、自転車専門会社の㈱サイクルオリンピック(店舗ブランド「サイクルオリンピック」)では、自社開発商品として、シリコーンを用いた特殊機構によりペダルを漕ぐ力を無駄なく使い切り、「電池のいらぬアシスト自転車」を実現する画期的なギア「FREE POWER」の取り扱いを開始し、ご好評をいただいております。同ギアを装着した自転車の販売に加えて、他社製自転車に装着することもできることから自転車メーカー等への提供も含め今後多くの需要を開拓できるものと考えております。

ペット専門会社の㈱ユアペティア(店舗ブランド「Your Petia」)では、当社グループの総合動物病院「動物総合医療センター」との連携強化により、獣医師の指導のもと、ご家族の一員であるペットに関する全てを安心してお任せいただける企業となるように努めるとともに、ご好評をいただいている自社開発の犬用ペットフード「バルトシュシュ」ブランドに新たに猫用のラインナップを加えたほか、お手頃な缶詰フード「THE CAT」の販売も始めております。

DIY・ガーデニング専門会社の㈱おうちDEPO(店舗ブランド「おうちDEPO」)では、職人さんにとって便利でお得な店、職人さんの求める品揃えを追求し続ける店を合言葉に、品揃え、価格、品質、サービスに徹底的にこだわり続け、お客様ごとのニーズに合わせたきめ細やかな対応がご評価をいただき、複数の店舗をご利用されるお客様が着実に増加するなど、店舗ブランドの知名度向上とともに、業績も順調に伸長しております。

靴専門会社の㈱シューズフォレスト(店舗ブランド「Shoes Forest」)では、「家族全員でご来店いただける店」をコンセプトに、幅広い品揃えと、お買い物していただきやすい雰囲気のお店づくりを目指して、スタッフが商品知識だけでなく高度な接客技術を身につけるよう努力してまいりました。また、商品開発におきましても、紳士靴、婦人靴、スポーツシューズ、子供靴の全域にわたって一層の充実を図っております。

また、4月には「オリンピックおリーぶ志村坂下店」の食品フロアを中心とした大規模改装を実施し、開放的で気持ちよくお食事が出来るフードコート「PICCOLY」、自家焙煎の高品質なコーヒーを提供するコーヒーショップ「GRAIN COFFEE ROASTER」、ソムリエ資格保有者が常駐し多品種のワインを取り扱う専門店「Olympic CELLAR」を配した店舗フォーマットへ転換いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は、ディスカウント部門及び㈱アバンセによるスーパーマーケット事業の回復が遅れていることもあり262億62百万円(前年同四半期比2.4%減)となり、営業利益は1億34百万円(前年同四半期比49.5%減)、経常利益は1億6百万円(前年同四半期比54.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円(前年同四半期比68.7%減)となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億87百万円増加し、705億27百万円となりました。これは主に現金及び預金並びに商品が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億86百万円増加し、464億96百万円となりました。これは主に買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円減少し、240億30百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した反面、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したこと及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、平成30年4月16日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成30年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,256 | 4,655 |
| 受取手形及び売掛金 | 675 | 903 |
| 商品 | 11,910 | 12,248 |
| その他 | 2,031 | 2,019 |
| 貸倒引当金 | △22 | △16 |
| 流動資産合計 | 17,851 | 19,810 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 12,784 | 12,684 |
| 土地 | 14,806 | 14,806 |
| その他(純額) | 2,316 | 2,334 |
| 有形固定資産合計 | 29,906 | 29,826 |
| 無形固定資産 | 1,242 | 1,222 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 14,936 | 14,814 |
| その他 | 4,767 | 4,824 |
| 投資その他の資産合計 | 19,703 | 19,638 |
| 固定資産合計 | 50,852 | 50,687 |
| 繰延資産 | 34 | 29 |
| 資産合計 | 68,739 | 70,527 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,062 | 11,230 |
| 短期借入金 | 18,429 | 17,775 |
| 未払法人税等 | 103 | 72 |
| 賞与引当金 | 267 | 482 |
| その他 | 4,457 | 4,269 |
| 流動負債合計 | 32,319 | 33,829 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 994 | 751 |
| 長期借入金 | 9,399 | 10,108 |
| 資産除去債務 | 480 | 482 |
| その他 | 1,316 | 1,324 |
| 固定負債合計 | 12,189 | 12,666 |
| 負債合計 | 44,509 | 46,496 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,946 | 9,946 |
| 資本剰余金 | 9,829 | 9,829 |
| 利益剰余金 | 4,200 | 3,915 |
| 自己株式 | △292 | △292 |
| 株主資本合計 | 23,684 | 23,399 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 545 | 631 |
| その他の包括利益累計額合計 | 545 | 631 |
| 純資産合計 | 24,229 | 24,030 |
| 負債純資産合計 | 68,739 | 70,527 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 25,236 | 24,689 |
| 売上原価 | 17,639 | 17,145 |
| 売上総利益 | 7,597 | 7,543 |
| 営業収入 | 1,669 | 1,573 |
| 営業総利益 | 9,267 | 9,116 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,001 | 8,982 |
| 営業利益 | 265 | 134 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 9 |
| 受取配当金 | 4 | 5 |
| 債務受入益 | 14 | 20 |
| 貸倒引当金戻入額 | 4 | 6 |
| その他 | 18 | 12 |
| 営業外収益合計 | 53 | 53 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 78 | 74 |
| その他 | 7 | 7 |
| 営業外費用合計 | 86 | 81 |
| 経常利益 | 232 | 106 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 6 | 11 |
| 減損損失 | 20 | 11 |
| 特別損失合計 | 27 | 23 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 205 | 82 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 56 | 46 |
| 法人税等調整額 | △41 | △23 |
| 法人税等合計 | 15 | 22 |
| 四半期純利益 | 190 | 59 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 190 | 59 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 190 | 59 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3 | 85 |
| その他の包括利益合計 | 3 | 85 |
| 四半期包括利益 | 193 | 145 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 193 | 145 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。